

## LM Series / PLM+ Series / D Series の IP アドレス変更方法、Dual Redundancy の設定方法

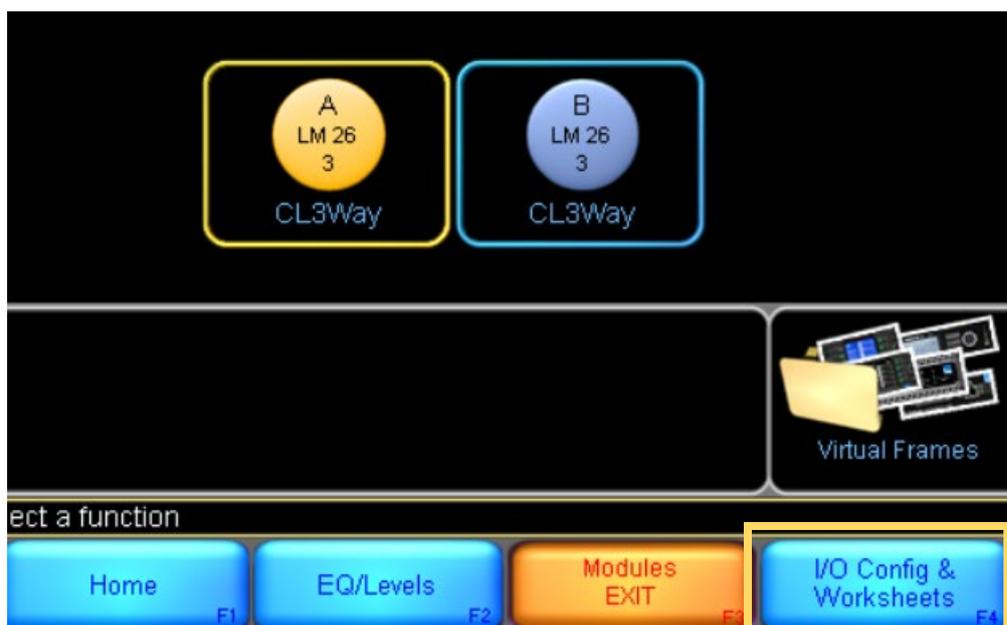
1. IP アドレスの設定方法
2. Dual Redundancy の設定方法
3. Dante Slave Only の機能と Dante Clock について

### 1. IP アドレスの設定方法

Lake Controller は、ネットワーク上の Lake プロセッサとの通信に User Datagram Protocol (UDP) を使用します。全てのデバイスをネットワークに接続すれば、Lake Controller が必要に応じて各デバイスとの通信を行いますので、ネットワークのセットアップとコンフィギュレーションは短時間で簡単に行えます。

Lake デバイスは APA (Automatic Private Addressing = 自動プライベート・アドレス) を使用するようにコンフィギュレーションされており、169.254.x.x の IP アドレスが割り当てられます。ほとんどのケースでは、この自動割り当てを変更する必要はありません。しかしながら、他のデバイスと同じネットワーク上でコントロールする場合、大規模インストールのネットワークに組み込む場合は、必要に応じて Lake Controller ソフトウェアから IP 割り当て方法を変更することができます。

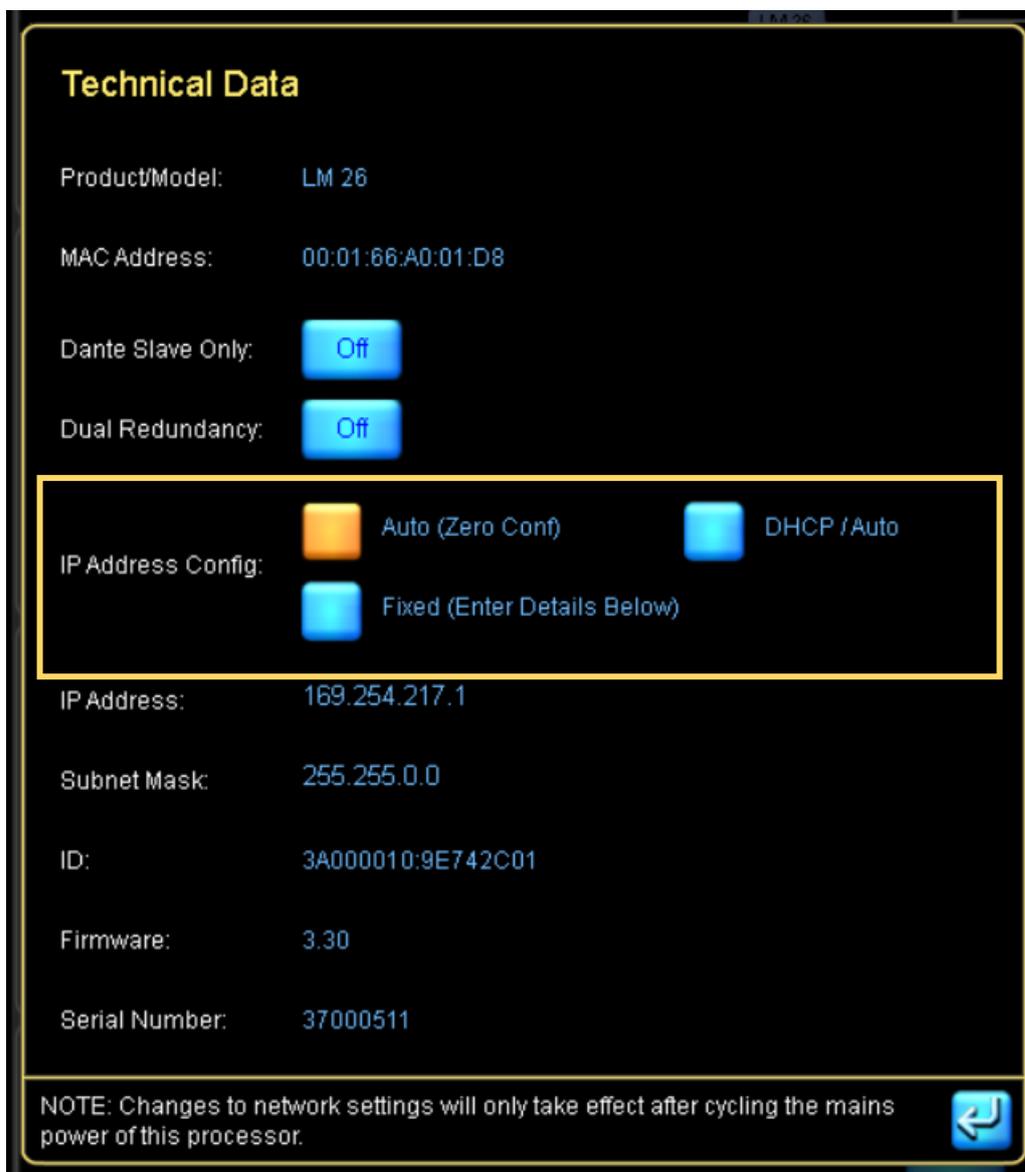
【Module】(F3)を選択して設定したいモジュールを選択（黄色）してください。  
その後、【I/O config & Worksheets】(F4)を選択



I/O Config 内のコントロールボタン【Technical Data】(F5)を選択します。



LM26/LM44 の Technical Data



## PLM+ Series / D Series の Technical Data

**Technical Data**

Product/Model: PLM 5K44

Dante Slave Only:  On Dual Redundancy:  Off

**Lake**

IP Address Config:  Auto (Zero Conf)  
 DHCP / Auto  
 Fixed (Enter Details Below)

MAC Address: 00:01:66:A2:AF:F8

IP Address: 169.254.249.175

Subnet Mask: 255.255.0.0

**Dante**

IP Address Config:  Auto (Zero Conf)  
 DHCP / Auto  
 Fixed (Enter Details Below)

MAC Address: 00:1D:C1:12:4F:20

IP Address: 169.254.12.1

Subnet Mask: 255.255.0.0

PLM+ Series と D Series には独自の IP アドレスを持つ個別の DANTE モジュールがあります。Lake Controller からの Dante 構成を有効にするには Lake と Dante の両方の IP アドレスが同じサブネット上にある必要があります。

(Lake Update Utility からの両方のコンポーネントの完全なファームウェアアップデートも可能となります。)

**Auto (Zero Conf)** 工場出荷時（リンクローカルアドレス）169.254.xxx.xxx  
自動のセットアップで、IP アドレスは自動的に割り当てられます。

### DHCP / Auto

DHCP サーバーで運用する場合にはこちらを選択しますが、  
IP アドレスは自動割り振りでネットワーク管理を簡略化できます。

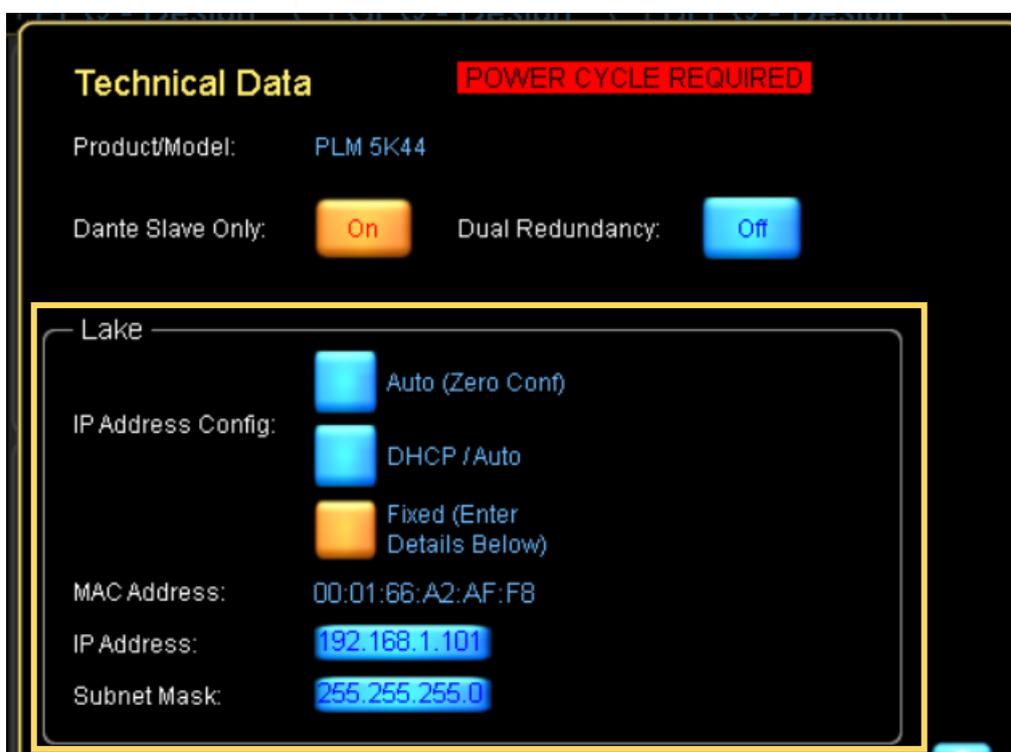
### Fixed

頻繁にネットワークアダプターを切り替えたり、ネットワークケーブルを抜き差ししたり  
する場合に役立ちます。

IP Address Config の設定を変更した際には、本体の再起動（電源ケーブルの抜き差し）が必  
要となります。

この設定は、SYSTEM RECALL、FRAME REPLACE、FRAME PRESET RECALL、または FRAME  
CONFIGURATION および SOFT RESET の影響を受けません。

この画面での設定変更とデバイスのフロントパネルの FACTORY RESET でのみ変更されます。



**POWER CYCLE REQUIRED**が表示されている場合（設定変更後）には本体の再起動（電源ケーブルの抜き差し）が必要になります。

## 2 Dual Redundancy の設定

Dual Redundancy は Lake Controller データと Dante オーディオの冗長性（2重化）を有効にします。 Primary ポートをメイン回線として Secondary ポートをバックアップ用とします。

LM シリーズ、PLM+シリーズの初期設定は「OFF」ですが、D Series は設備用途に開発された製品の為、ネットワークの冗長性（2重化）を行う件名が多いため初期設定は「ON」となっています。

**注意：**D Series は初期設定ではダイジーチェーン接続では2台目以降は認識しませんので、ご注意ください。

LM26/LM44 での Dual Redundancy の Technical Data 画面

## Technical Data

Product/Model: LM 26

MAC Address: 00:01:66:A0:3C:00

Dante Slave Only:  Off

Dual Redundancy:  On

IP Address Config:  Auto (Zero Conf)  DHCP / Auto

Fixed (Enter Details Below)

IP Address: 169.254.1.60

Subnet Mask: 255.255.0.0

D Series の Dual Redundancy モードの場合の Technical Data 画面

**Technical Data**

Product/Model: D 10:4L    Front Panel Enable:  On

Dante Slave Only:  Off    Dual Redundancy:  On

	Primary	Secondary
<b>Lake</b>		
IP Address Config:	<input checked="" type="checkbox"/> Auto (Zero Conf)	<input checked="" type="checkbox"/> Auto (Zero Conf)
	<input type="checkbox"/> DHCP /Auto	<input type="checkbox"/> IP Address Config Auto (Zero Conf)
	<input type="checkbox"/> Fixed (Enter Details Below)	
MAC Address:	00:01:66:A2:2E:B8	00:01:66:A2:2E:B9
IP Address:	169.254.185.46	172.31.186.46
Subnet Mask:	255.255.0.0	255.255.0.0
<b>Dante</b>		
IP Address Config:	<input checked="" type="checkbox"/> Auto (Zero Conf)	<input checked="" type="checkbox"/> Auto (Zero Conf)
	<input type="checkbox"/> DHCP /Auto	<input type="checkbox"/> DHCP /Auto
	<input type="checkbox"/> Fixed (Enter Details Below)	<input type="checkbox"/> Fixed (Enter Details Below)
MAC Address:	00:1D:C1:0E:D2:3C	00:1D:C1:0E:D2:3D
IP Address:	169.254.135.29	172.31.135.30
Subnet Mask:	255.255.0.0	255.255.0.0

全製品共通

- Technical Data の画面上で Dual Redundancy を ON にした後、電源の再起動を行うことで設定を反映させます。

LM26/LM44

- Dual Redundancy を設定後、Lake Controller の Secondary ネットワークの IP アドレスは 172.31.xxx.xxx と設定されます。(変更することはできません。)

- Dante の IP アドレスは Primary/Secondary 共に Lake Controller と共通になります。

#### PLM+シリーズ/D シリーズ

- Dual Redundancy を設定後の Lake Controller の Secondary ネットワークの IP アドレスは 172.31.xxx.xxx と設定されます。(変更することはできません。)
- Dante の IP Address は Primary/Secondary 共に独自の IP アドレスの設定が可能です。

### 3. Dante Slave Only の機能と Dante Clock について

- Dante ネットワーク上でシステム構築を行うと自動的に Master となる場合がありますが、Technical Data ウィンドウ内にある「Dante Slave Only」を「ON」にすることで常に Slave として Dante ネットワーク上で動作します。
- この設定は、初期設定時は D シリーズでは有効 (ON)、PLM+シリーズ、LM26/LM44 では無効 (OFF) となっています。
- Dante Slave Only が有効になっている場合、デバイスは Dante ネットワークのスレーブとしてのみ動作し、Dante Clock Master として選択されることができなくなります。
- デバイスが Dante Clock Master として選択される必要がない限り、この設定をすべてのデバイスで有効にすることをお勧めします。ただし、Dante Dual Redundant システムを実行する場合は、Dante Slave Only を無効にした Lake 対応のアンプをいくつか (2~6 個) 用意することをお勧めします。